



白糠高校で給食開始

釧路管内初、無償で提供

【白糠】町教育委員会（川島眞澄教育長）は9日から、白糠高校（田村信明校長）への給食提供を始めた。地元食材への理解促進や保護者の負担軽減などが目的で、道立高校への給食提供は釧路管内では初めて。希望する生徒と教職員を対象に、町立小中学校と同じ1食225円の給食を提

給。生徒分は町が負担するため無償で、教職員は自己負担となる。今年度は全校生徒68人中45人が申し込んだ。同校では既存の多目的教室を、テーブルや椅子を配置して給食室に改め、各学年に配膳を担当する給食当番を設けた。希望者以外の生徒も含めて全員が同室で食事を取る。新型コロナウイルス対策として、室内は窓を開放して換気し、対

面での食事はしない。

この日の献立はビビンバ、井にわかめスープ、三色サラダ。2、3年生にとって

は久しぶりの給食で、給食当番の生徒は全員に行き渡るような盛り付けの加減に苦戦していた。コロナ禍のため「黙食」となったが、生徒たちはおいしそうに給食を頬張っていた。国分世那さん（3年）は「すごくおいしかった。懐かしい気分になったと話していた。

（水谷友路）

給食を頬張る生徒たち